内田健一先生

突然のメール失礼致します。
東北大学工学研究科ナノメカニクス専攻三浦研究室の大西正人と申します。
１１月２１日に工学研究科で行われます、博士課程交流セミナーに内田先生を講師としてお招きしたくメールさせて頂きました。

本セミナーは工学研究科の博士課程学生同士の交流や、博士号取得者の方の社会的経験談や博士課程学生に対する考えを聴くことで知見を深め、自己啓発を行う機会を設けることを目的としております。
毎年、学内外の講師の方々をお呼びし，講演やパネルディスカッションなどお願いしております。
本年は、以下のような内容となっております。

****
テーマ: これからの「博士」の話をしよう―「博士」からはじまる未来―
日時: 2012 年 11 月 21 日(水)13:30-18:00 （18 時から懇親会）
内容: 講演（質疑応答等を含め 30～40 分程度，講師４名）、パネルディスカッション
会場: 工学部青葉記念会館４F 大研修室
参加対象: 工学部・工学研究科の学生（主に博士後期課程の学生）
****

今年は『これからの「博士」の話をしよう―「博士」からはじまる未来―』というテーマで、学内外から異なるご経歴をお持ちの４人の講師の方々をお呼びします。
各講師にこれまでの経験談（ご功績や乗り越えられてきた困難など）をもとに、それぞれのご視点で「博士」というものについて語っていただき、パネルディスカッションを通して「博士」の未来について議論し合える場にしたいと考えております。

そこで、スピントロニクスという新しい分野で若くしてご活躍の内田先生にお話頂き，研究者を目指す学生が研究に対する姿勢を考える機会になればと考えております。どのように目標を設定し、それに向かって問題を解決したかといったことをご経験に基づいて語っていただけたらと思います。また、スピントロニクスは今後実用化がますます期待される分野であり、大学での基礎的な研究と社会とのニーズが最も近い分野であるともいえます。その分野でご活躍する内田先生と共に，社会の中で研究者が果たすべき役割や使命といったものを考えていきたいと思っております。

ご快諾いただけましたら、正式なご依頼状を委員長のマテリアル・開発系杉本諭先生から送っていただくこととなります。

長文失礼致しました。

ご多忙のところ大変恐縮ですが、ご検討の程よろしくお願い申し上げます。

大西正人